製品安全データシート

改訂日：2007年12月21日

1. 製品及び会社情報

製品名	アニリン
会社名	米山薬品工業株式会社
住所	大阪市中央区道修町２丁目３番１１号
担当部門	品質管理課
電話番号	(06)6393-4001
FAX番号	(06)6396-7714
緊急連絡先	米山薬品工業（株）三国工場
整理番号	AA0583

2. 危険有害性の要約

GHS分類

物理化学的危険性	引火性液体： 区分4
健康に対する有害性	急性毒性（経口）： 区分4
	急性毒性（経皮）： 区分3
	急性毒性（吸入：蒸気）： 区分2
	急性毒性（吸入：ミスト）： 区分4
	皮膚腐食性・刺激性： 区分2
	眼に対する重篤な損傷・眼刺激性： 区分2A
	皮膚感作性： 区分1
	生殖細胞変異原性： 区分2
	発がん性： 区分2
	生殖毒性： 区分2
	特定標的臓器・全身毒性： 区分1(神経系、呼吸器系、腎臓、肝
	特定標的臓器・全身毒性： 区分1(神経系、呼吸器系、血液)
環境に対する有害性	水生環境急性有害性： 区分1

＊記載のないものは「分類対象外」，「分類できない」または「区分外」。

ラベル要素

絵表示又はシンボル



注意喚起語	危険
危険有害性情報	可燃性液体
	飲み込むと有害（経口）
	皮膚に接触すると有毒（経皮）
	吸入すると生命に危険（蒸気）
	吸入すると有害（ミスト）
	皮膚刺激
	強い眼刺激
	アレルギー性皮膚反応を引き起こすおそれ
	遺伝性疾患のおそれの疑い
	発がんのおそれの疑い
	生殖能又は胎児への悪影響のおそれの疑い
	神経系、呼吸器系、腎臓、肝臓、血液、心臓の障害
	長期又は反復ばく露による神経系、呼吸器系、血液の障
	水生生物に非常に強い毒性
注意書き	【安全対策】
	使用前に取扱説明書を入手すること。
	すべての安全注意を読み理解するまで取扱わないこと。
	炎及び高温のものから遠ざけること。
	適切な保護手袋、保護眼鏡、保護面、保護衣を着用する
	適切な呼吸用保護具を着用すること。

必要に応じて個人用保護具や換気装置を使用し、ばく露を避けること。
ミスト、蒸気、スプレーを吸入しないこと。
屋外又は換気の良い区域でのみ使用すること。
この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。
取扱い後はよく手を洗うこと。
環境への放出を避けること。
【救急処置】
直ちに、すべての汚染された衣類を脱ぐこと、又は取り除くこと。
取り扱い後は、よく手を洗うこと。
汚染された作業衣は作業場から出さないこと。
飲み込んだ場合、口をすすぐこと。
皮膚に付着した場合、多量の水と石鹸で洗うこと。
汚染された衣類を再使用する前に洗濯すること。
吸入した場合、被災者を新鮮な空気のある場所に移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
眼に入った場合、水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
吸入した場合、直ちに医師に連絡すること。
眼に入った場合、眼の刺激が持続する場合は医師の診断、手当てを受けること。
皮膚に付着した場合、皮膚刺激又は発疹が生じた場合は、医師の診断、手当てを受けること。
ばく露又はその懸念がある場合、医師の手当、診断を受けること。
漏出物は回収すること。
【保管】
換気の良い冷所で保管すること。
施錠して保管すること。
容器を密閉して換気の良い場所で保管すること。
【廃棄】
内容物、容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること

3. 組成､成分情報

単一製品･混合物の区別	単一製品
化学名	アニリン
別名	アミノベンゼン
成分及び含有量	９９．５%以上
危険有害成分	アニリン
化学式又は構造式	◇分子式…Ｃ６Ｈ７Ｎ ◇示性式…Ｃ６Ｈ５ＮＨ２
官報公示整理番号	◇化審法…（３）－１０５ ◇安衛法…公表
CAS No.	６２－５３－３ ◇TSCA…有り ◇EINECS…２００５３９３

4. 応急措置

眼に入った場合	１．数分間多量の水で洗い流す（できればコンタクトレンズをはずして）。 ２．医師の診断を受ける。
皮膚に付着した場合	１．汚染した衣服や靴をぬがせる。 ２．洗い流してから水と石けんで皮膚を洗浄。 ３．医師の診断を受ける。
吸入した場合	１．新鮮な場所に移し、安静、保温する。 ２．医師の診断を受ける。

飲み込んだ場合	１．口をすすぐ。吐かせる（意識がある場合のみ）。医療機関に連絡。

5．火災時の措置

消火方法	
消火要領	１．消火は泡、粉末、二酸化炭素消火剤等で一挙に消火する。 ２．注水は延焼防止、又は容器の冷却とする。 ３．少量の場合は、噴霧注水で消火できる。
消防活動装備	１．防護衣。 ２．空気呼吸器。 ３．循環式酸素呼吸器。 ４．ゴム長靴。
消火剤	１．粉末。 ２．二酸化炭素。 ３．泡。

6．漏出時の措置

人体に対する注意事項	作業の際には適切な保護具を着用し風上から作業して、風下の人を退避させる。
環境に対する注意事項	河川等へ排出され環境への影響を起こさないように注意する。
除去方法	１．出火防止のために消火準備をする。 ２．大量の流出は、土砂等で流出拡大防止を図り、回収する。 ３．少量の流出は、乾燥砂、油処理剤等で回収する。 ４．漏れた液をふた付の容器に集め、残留液を砂または不活性吸収物質に吸収させて安全な場所に移す。この物質を環境中に放出してはならない。

7．取扱い及び保管上の注意

注意事項	吸入したときおよび皮膚に接触したとき有害である。不可逆的影響のリスクの可能性がある。有毒：　吸入、皮膚接触および飲み込むことによる長期曝露により重度の健康障害を生じる危険がある。水生生物に対して非常に有毒である。
安全取扱い注意事項	錠をかけ子供の手の届かない場所に保管する。皮膚に触れたら、直ちに多量の・・・（製造業者が指定するもの）で洗う。適切な保護衣および手袋を着用する。事故が起きたときあるいは気分が悪い場合、直ちに医師の診察を受ける（出来ればﾗﾍﾞﾙを見せる）。環境中への放出を避ける。特別な指示/製品安全データシート(MSDS)を参照する。
取扱い	１．有毒。 ２．眼を刺激する。 ３．皮膚を刺激する。 ４．眼、皮膚、衣服への接触を避ける。 ５．蒸気の吸入を避ける。 ６．長時間または反復の暴露を避ける。 ７．取扱い後に十分に洗浄する。 ８．ケミカルドラフト内でのみ取り扱う。 ９．裸火禁止。７０℃以上では、密閉、換気。 １０．作業環境管理を厳密に。 １１．作業中は飲食、喫煙をしない。
保管	１．強酸化剤から離しておく。暗所に保管。床面に沿って換気。
安全な容器包装材料	ガラス

8．暴露防止及び保護措置

安全管理上の留意事項	１．火気厳禁とする。

	２．皮膚からも吸収される。 ３．漏えい飛散した場合の処理時でも防護衣の上に防火服を着装すること。
許容濃度	ACGIH（２００３年） TLV－TWA　２ppm（皮） ７．６㎎／ｍ３（皮） 日本産業衛生学会勧告値（２００３年）　１ppm（皮） ３．８㎎／ｍ３（皮） OSHA PEL TWA　５ppm（皮） MSHA TWA　５ppm １９㎎／ｍ３
設備対策	
安全管理･ガスの検知	１．測定器：可燃性ガス・有害ガス測定器、可燃性ガス警報器、ガス検知器。 ２．検知管：アニリン用、ポリテスト。
貯蔵上の注意	１．強酸化剤から離しておく。暗所に保管。床面に沿って換気。
保護具	１．換気、局所排気または呼吸用保護具。 ２．保護手袋。 ３．保護衣。 ４．顔面シールド。

9．物理的及び化学的性質

外観等	無色油状液体。特有の臭気があり、空気中で容易に酸化され赤茶色になる。可燃性（着火温度５３８℃）。酸と反応して塩をつくる。アルカリ金属、アルカリ土類金属と反応して水素を発生し、アニリドをつくる。アニリン塩酸塩をモメン上で酸化すると黒色に染色される。蒸気圧：４０Pa（２０℃）、相対蒸気密度（空気＝１）：３．２、２０℃での蒸気／空気混合気体の相対蒸気密度（空気＝１）：１．０、log Pow（オクタノール／水分配係数）：０．９４。
密度(比重または嵩比重)	1.235
溶解性	水に微溶、アルコール、エーテル、ベンゼンに溶。水への溶解度：３．４g／１００ml（２０℃）。
pH	該当情報なし。
爆発限界	１．３～１１vol%（空気中）
沸点	１８４．４℃
融点	－６．２℃
引火点	７０℃（密閉式）
発火点	７７０℃；６１５℃（ICSC）

10．安定性及び反応性

危険有害な分解生成物	窒素酸化物、一酸化炭素
加熱･燃焼	危険性有 １．熱、火花で着火する。 ２．加熱により容器が爆発する。 ３．燃焼により有毒ガスを発生する。 ４．１９０℃以上に加熱または燃焼すると分解し、有毒で腐食性のフューム（アンモニア、窒素酸化物）および引火性の蒸気を生じる。
水との接触	危険性無
空気との接触	危険性有 １．蒸気は空気と混合し、引火爆発の危険がある。 ２．７０℃以上では蒸気／空気の爆発性混合気体を生じることがある。
混触等	危険性有 １．酸化剤と混触したものは、加熱、衝撃、摩擦により、発熱、発火することがある。

	２．酸と塩をつくり、アルカリ金属、アルカリ土類金属と反応して可燃性ガス（水素）を発生する。 ３．弱塩基である。強酸化剤、酸、無水酢酸、クロロメラミンモノマー、β－プロピオラクトン、エピクロロヒドリンと激しく反応し、火災や爆発の危険をもたらす。ナトリウム、カリウム、カルシウムなどの金属類と反応し、引火性の水素ガスを生成する。銅およびその合金を侵す。
11．有害性情報	
皮膚に触れた場合	１．薬傷をおこす。 ２．皮膚から吸収があり、吸収した場合と同様の症状をおこす。
眼に入った場合	１．結膜の充血をおこす。 ２．発赤、痛み。
吸入した場合	１．チアノーゼがおこる。 ２．重症になるとチアノーゼが著しく、下剤腎臓炎をおこし、痙攣及び意識を失い、死亡することがある。 ３．紫色（チアノーゼ）の唇や爪、紫色（チアノーゼ）の皮膚、頭痛、めまい、息苦しさ、痙攣、心拍数増加、嘔吐、脱力感、意識喪失。
飲み込んだ場合	１．（「吸入」参照）。
刺激性	ラビット　２０㎎／２４H；MODERATE（皮膚） ラビット　１０２㎎；SEVERE（眼） ラビット　２０㎎／２４H；MODERATE（眼）
急性毒性	（RTECS）
吸入毒性	マウスLC５０：１７５ppm／７H ラットLCLo：２５０ppm／４H
経口毒性	マウスLD５０：４６４㎎／kg ラットLD５０：２５０㎎／kg
経皮毒性	ラットLD５０：1，４００㎎／kg
がん原性	IARC；グループ３ ACGIH；A３
変異原性	微生物；サルモネラ菌（－S９）；陽性 染色体異常；ハムスター（生体外）；陽性 小核；マウス（生体内・腹腔内）；陽性
12．環境影響情報	
生態影響	ファットヘッドミノーLC５０（９６hrs）：３２㎎／l ニジマスLC５０（９６hrs）：１０．６㎎／l ブルーギルLC５０（９６hrs）：４９㎎／l
分解性･濃縮性	
分解性	８５％（by BOD）
濃縮性（倍率）	魚類（ゼブラフィッシュ）２．６、藻類（セレナストラム） 微生物等による分解性が良好と判断される物質。（化審法既存点検）
13．廃棄上の注意	
	１．燃焼法：可燃性溶剤とともに焼却炉の火室に噴霧し焼却する。 ２．活性汚泥法。
14．輸送上の注意	
	運搬に際しては容器に漏れのないことを確かめ、転倒、落下、損傷がないよう積み込み、荷くずれの防止を確実に行う。
IMDG	クラス６．１　等級II
ICAO／IATA	クラス６．１　等級II　PAT６０９（５l）Y６０９（１l）CAO６１１（６０l）

国連番号／国連分類	UN１５４７（アニリン）クラス６．１　等級II

15. 適用法令

化学物質管理促進法(PRTR法)	第２条第１種指定化学物質
消防法	第２条危険物第４類第３石油類非水溶性液体（２，０００l）
毒物及び劇物取締法	第２条別表第２劇物（アニリン及びアニリン塩類）
バーゼル法	第２条特定有害廃棄物等（０．１重量%を超えるもの）
労働安全衛生法	施行令第１８条の２〔名称等を通知すべき有害物（ＭＳＤＳ対象物質）〕
外為法	輸出令別表第２の３５の２項（０．１重量%を超える廃棄物）
海洋汚染防止法	施行令別表第１有害液体物質（C類）
船舶安全法	危規則第３条危険物等級６．１毒物（正６．１容器等級２）
航空法	施行規則第１９４条危険物毒物（M等級２）
港則法	施行規則第１２条危険物（毒物）

16. その他の情報

引用文献	化学品安全管理データブック(化学工業日報社)

記載内容のうち、含有量、物理／化学的性質等の数値は保証値ではありません。危険･有害性の評価は、現時点で入手できる資料･情報　データ等に基づいて作成しておりますが、すべての資料を網羅した訳ではありませんので取り扱いには十分注意して下さい。